

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	7. 土木費	事業名	3. 生活道路整備費		
項	2. 道路橋梁費	細事業名	1. 生活道路整備費		
目	3. 道路新設改良費	担当課係	道路建設課 (執行課: 道路建設課)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業	(単位: 千円)								
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	14,221	要 求									14,221
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施策	多彩なふれあいが広がるまちづくり / 生活基盤が充実したまちづくり / 計画的に生活道路の整備を進めます。						
	【道路の新設・改良に関する業務】	施策体系コード	05-02-01-20-10			事業番号	174-1		
	生活道路の安全性を確保するため、主要な市道であるI・II級幹線以外の道路の新設工事及び改良工事を行う。	総事業費	158,700千円			事業期間	平成18年度～平成22年度		
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度		
		70,500	39,200	20,000	14,500	14,500			

(事業実施に関する根拠法令)
 道路法 道路構造令
 道路交通法

<事業に関する説明>		
(事業の説明) 生活道路の拡幅改良や歩道整備等を行い、通学児童を含む社会的交通弱者等をはじめ、道路通行の安全性を確保する。 平成21年度は、下志津原2-492号線、高崎5-97号線の道路改良、JR佐倉及京成臼井駅周辺の側溝蓋設置工事を実施する。	(事業の目的) 老朽化した道路、破損の著しい道路等の改修整備を行うことにより、市民生活の安心、安全、快適性の向上を目指す。	(事業の効果) 通行機能の確保と市民生活の安全性や快適性の向上が図れる。
(事業実施上の問題点) 地元要望により事業計画するが、要望が多く対応に苦慮する。	(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、部分的な改良でも一定の効果が得られるよう創意工夫をしている。	(見積についての特記事項) 効率的な施工方法を経済的に検討し、最小の経費で最大の効果が得られるよう努める。